

①問題

よだかは、どうして「たか」という名がついたのでしょうか。そのふたつの理由をそれぞれ本文から書きぬきましよう。

①よだかのはねが無暗むやみに強くて、風を切って翔かけるときなどは、まるで鷹のように見えたこと

②なきごえがするどくて、やはりどこか鷹たかに似にていた為ため

②問題

鷹は、自分がよだかよりすぐれていると言っていますが、どのような点でぐれていると言うのでしょうか。本文のことばを「」に入れて答えを完成させましよう。

「青いそら」をどこまででも飛んで行くことができ、「くちばし」や「つめ」もよだかよりりっぱであること。

③問題

「それがこんなにつらいのだ」とありますが、「それ」は何をさしていますか。本文のことばを使いながら八字で答えましよう。

鷹に殺されること

④問題

お日さまはよだかに「今度そらを飛んで、星にそうたのんでごらん」と言っています。星になにをたのむように言っているのですか。本文中からのむことを二十字以内で書きぬきましよう。

どうぞ私をあなたの所へ連れてって下さい

⑤問題

よだかはそらへ飛びあがり、どこへ連れて行ってほしいと思いましたか。よだかのことばのなから、その場所をふたつ書きぬきましょう。

「南の青いお星さん」のところ。

「北の青いお星さま」のところ。

「東の白いお星さま」のところ。

⑥問題

「^{りん}燐の火のような青い美しい光になって、しずかに燃えているの」はなんですか。答えを本文中よりのことばを使って答えましょう。

よだかのからだ